

わが街のお医者さん

地域医療支援病院

平塚・大磯・二宮地区を中心に“患者の視点に立った医療を提供” 幅広い専門性で地域医療をけん引

平塚共済病院



平塚・大磯・二宮地区を中心とした二次救急指定病院として、救急センター、心臓センター、脳卒中センターを診療の柱とする「平塚共済病院」。同院を初めて受診する場合、かかりつけ医からの紹介状の持参を、紹介状がない場合、選定療養費 5400 円が必要で

地域に開かれた病院に向けて 専門スタッフによる講座や体験を実施



早期発見・治療につながる さまざまな健康講座

総合病院ならではの幅広い疾患をテーマにした健康講座を定期開催。医療の知識を得ることで、早期発見・治療にもつながります。

未来の医療者を育てる 子ども向け模擬手術

実際の医療機器を使った模擬手術体験など、未来の医療を担う子どもたちと地域社会への貢献を目的に「ブラック・ジャックセミナー」を開催。



今後も中核的な役割を果たし 変化する医療需要に寄り添う

今年、創立100周年を迎えた平塚共済病院。新たな目標として、今後の目標を教えてください。当院に赴任してからの約1年、さまざまな医療機関と顔の見える連携体制を築き、国が目指す「地域完結型」の医療構造に近いものだと実感しています。今後も各種医療の充実に加え、地域医療連携の強化とともに、地域社会に貢献できるよう努めます。

平塚市を中心とする地域中核病院としての役割を担い、入院治療や手術を必要とする専門性の高い医療を提供する「平塚共済病院」。今回の紙面から、隔月で同院の特色や連携クリニックを連載で紹介いたします。初回となる今回は、この4月から院長に就任した稲瀬直彦先生にお話を伺います。



平塚共済病院
院長 稲瀬直彦先生

東京医科歯科大学医学部卒、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本呼吸器学会認定呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医、日本アレルギー学会認定アレルギー専門医。平塚共済病院では呼吸器内科を担当し、2019年4月に院長就任

救急・心臓・脳卒中の各センターを柱に 救急車の受け入れは年間5000件超

1919年に海軍火薬廠の職員・家族のための医療機関として開設され、戦後は地域住民のための病院に機能転換し、今年で創立100周年を迎えています。救急車の受け入れは年間5000件を超す救急車医療を提供することを「救急センター」を柱に、平塚・大磯・二宮地区の二次救急指定病院として、救急センター、心臓センター、脳卒中センターを診療の柱とする「平塚共済病院」。同院を初めて受診する場合、かかりつけ医からの紹介状の持参を、紹介状がない場合、選定療養費 5400 円が必要で

医師会・歯科医師会や行政との連携を密にして 地域医療支援病院として地域完結型の医療を推進

「これらセンターの設置は、『断らない救急医療』を目指すものから、夜間や休日にも内科・外科・心臓センター・脳卒中センターの4部門の医師が必ず当直し、24時間体制で365日対応。また、心臓センターと脳卒中センターでは、救急隊との間にホットラインを設けて、急性心筋梗塞や重症心不全といった「心疾患」や、脳卒中をはじめとした「脳血管疾患」など緊急性が高いものを、近隣の医療機関からも迅速に受け入れられるようになっています。これらに加えて、高齢化の影響から罹患患者数が増えている「がん」についても力を注いでいます」

「直接的、受診するよりも利点があるのですか」「紹介状を取り寄せるのは、当院の受診に壁を感じるという患者さんもいらっしゃいます。」「約150カ所ある近隣の医療機関が、このように連携しては、患者さんの状況に合わせてかかりつけ医の紹介もしています」

がん・心疾患・脳血管疾患 に対応

「がんの高度医療機器について教えてください」
「より精密な放射線治療が行えるよう今年3月に治療装置を『リニアック』に更新しました。これにより、正常組織の被ばくを最小限に抑え、より腫瘍に線量を集中させることができます」



老朽化した放射線治療装置を、高度医療機器「リニアック」に更新。いろいろな臓器のがん治療に用いられます

国家公務員共済組合連合会
平塚共済病院
HIRATSUKA KYOSAI HOSPITAL

☎ 0463-32-1950 〒254-8502 平塚市追分 9-11
https://www.kkr.hiratsuka.kanagawa.jp

【診療科目】内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 脳神経内科 内分泌代謝内科 腎臓内科 血液内科 精神科 外科 整形外科 形成外科 リウマチ科 脳神経外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 小児科 放射線科 麻酔科(渡邊 美佳) リハビリテーション科 病理診断科

市民公開講座のご案内
はじめまして、訪問看護です!
～地域で暮らす皆様のための訪問看護活用術～

少子高齢社会を迎えた我が国では、「病気が障がいがあっても、住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。訪問看護は、そうした方々が住み慣れた地域で安心して在宅療養生活を送れるようサポートします。「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだけど大丈夫?」など、訪問看護のしくみや費用をはじめとする活用術を分かりやすくご説明します。

開催日 2019年5/7(火) 14:00～15:30
場所 平塚共済病院 診療研修棟 6階 大会議室
演者 平塚共済病院 訪問看護ステーションさくら 泉山所長
申し込み ☎ 0463-32-1950 (平日 9:00～17:00)